



# 生き生き

薩摩川内市立大裏小学校

令和5年 8月21日発行  
【校訓】 かしこく やさしく つよく  
【児童数】 47名 【職員数】 15名

## 「平和について考えてみる」

校長 岡留 一正

『生ましめんかな』 栗原 貞子

こわれたビルディングの地下室の夜だった。  
 原子爆弾の負傷者たちはローソク1本ない  
 暗い地下室をうずめて、いっぱいだった。  
 生ぐさい血の匂い、死臭。  
 汗くさい人いきれ、うめきごえ。  
 その中なかから不思議な声が聞こえて来た。  
 「赤ん坊が生まれる」と言うのだ。  
 この地獄の底のような地下室で今、若い女が産気づいているのだ。  
 マッチ1本ないくらがりどうしたらいいのだろう。  
 人々は自分の痛みを忘れて気づかった。  
 と、「私が産婆です。私が産うませましょう」  
 と言ったのはさっきまでうめいていた重傷者だ。  
 かくてくらがりの地獄の底で、新しい命は生まれた。  
 かくてあかつきを待たず産婆は血ちまみれのまま死んだ。  
 生ましめんかな  
 生ましめんかな  
 己が命いのち捨つとも。

(『中国文化』一九四六年三月)

この詩は、原爆が投下された日に実際にあった話をもとに作られた詩だと聞いています。原爆の悲惨さについて、次の世代の人々に語り継いでいく責任と義務があると、私は思っています。

原爆について、戦争について、まだまだ知らないことがたくさんあるはずですが。知らなかったというだけで終わりにするのではなく、知らないことをもっと知る、もっともっと学ぶ努力を続けて欲しいと思います。そして、戦争は嫌だ・原爆は嫌だという思いを、しっかりと口に出して言えるようになって欲しいと思っています。

今から78年前に日本は「二度と戦争はしたくない」と世界中の人々と決意しました。日本の人々は平和について考え、努力してきたことで、78年間、戦争を起こしていません。にもかかわらず、世界から戦争がなくなっていないません。今もウクライナとロシアで戦争が起っています。

そこで、皆さんに「平和」について考えてほしいのです。皆さんにとっての「平和」とはなんですか？どんなときに「平和」を実感しますか？少し考えてみてください。ちなみに私は、皆さんが毎日笑顔で学校に登校してくれただけでも「平和」を感じますよ。いろいろなことがあると思いますが、では、その「平和」を守るためにはどうしたら良いか、2つの視点で考えてみましょう。

- ① 皆さんは、いずれ大人になり、平和な世の中をつくっていく責任があるということを知覚しなければなりません。
- ② だから「今」子どものうちに学び、行動する力を身につける必要があります。自分と自分の身の回りの「小さな平和」をつくっていくことが、「大きな平和」につながると思います。

自分と自分の身の回りの「小さな平和」をつくるためには、「困ったら助け合う」「自分でできることは自分でやる」を通して、「人を大切にする力」「自分の考えを持つ力」を身につけてほしいと思います。だから、「一生懸命学んで賢くなること」「ルールを守って安心・安全に生活すること」が大切だと思います。

そしてもう一つ。毎年この時期に私は、皆さんに伝えたいことがあります。それは、自分の命を大切にしたいということです。さらに、自分の命と同じように、人の命も大切にしたいと、思っています。

人は、一人で生きていくことは出来ません。多くの人に支えられ、多くの人を支えながら、たくさんの人と一緒に生きていくものです。自分の命だからと言って、自分で勝手にすることは許されないと、私は思っています。これまでどれだけ多くの人に、あなたは生かされてきたか、考えたことがありますか？ また、あなたの何気ない一言で、どんなに多くの人々が励まされてきたか、知っていますか？

辛くて苦しくてどうしようもない時、誰でもいいので大人の人に話をしてみてください。相談してみてください。辛く苦しいことから、逃げることもきっと出来るはずですよ。

私は皆さんのことを、大切に思っています。そしてそれ以上に皆さんは、自分のことを、もっともっと好きになってください。

大裏小学校が「みんなで学び、笑顔あふれ、安心して過ごせる学校」であり続けるように、児童の皆さん、先生方、保護者の方々、地域の皆さんと「できること」をやっていきたいと思います。



## 「1学期 保護者による学校評価の結果から」

1学期末に保護者の皆様方に御協力いただき、今回は、「二次元バーコード」で学校の教育活動について評価をしていただきました。結果は、別紙で2枚目に掲載してあります。

今回、31戸中21戸の提出で67.7%の回収率となりました。二次元バーコードでの回答で戸惑われたところもあったことと思われます。2学期以降も同様に実施いたしますので、回答への御協力よろしくお願いいたします。

評価の結果から、どの項目もA「よく思う」B「思う」の評価が上がっております。しかし、②・⑧については、C「あまり思わない」という評価が出てきているので、「学力向上の取組」が、保護者にも伝わるように、学校からの発信をしていきたいと思っております。同じく、児童の学校での様子が伝わるように、週報・学校だより・ホームページや学校の掲示等の工夫に努めていきたいと思っております。⑩については、児童とも話し、学校に楽しく行けるよう改善していきたいと思っております。⑪・⑫に関しては、「あいさつや優しい言葉遣い」は、3割程が、改善を求めている状況です。学校と家庭が連携して取り組んでいきましょう。「手伝い」については、今年度の学校保健委員会でも手伝い内容について話し合ったことを活用し、自分のお子様ができることから取り組ませていただくと、子供たちも家族の一員として役立っているという自己肯定感のアップにもつながると思っております。声かけの方よろしくお願い致します。

記述での返信が3点ありました。①複式になり、時間が足りずに慌ててしまう気持ちは分らないでもないですが、授業についてこれない子は、置いていくような発言はいかがなものかと思っております。しかし逆に児童も先生の授業進行を妨げている様子もあるようです。②行事があるときは仕事が1ヶ月シフトなので最低2週間前には詳細のお知らせがほしい。③いつもありがとうございます。④については、人として発言等には、十分気を付けます。授業改善にも積極的に取り組みます。⑤については、できる限り早めにお知らせいたします。大きな行事等は、PTA総会資料に年間行事がありますのでご活用ください。 貴重な御意見ありがとうございました。

# 9月

- 1日(金) 始業式  
朝の街頭指導(~7日)
- 6日(水) 学級PTA・家庭教育学級
- 21日(木) 運動会予行練習
- 28日(木) PTA運動会会場準備

※10月1日(日) 第47回秋季大運動会  
(午前のみ実施)

